## 平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 6 月 25 日作成 点検日 平成 19 年 7 月 3 日作成

-	<b>吉水市 ** カ</b>	1								
	事務事業名			<b>F発行事務</b>		,	マニフェスト	·関連	□ 全庁横	断課題関連
	政策名			か元気で笑顔		づくり 所	属部		所属課 会計	課
	施策名	計 画 1	6 行則	才政改革の推進		所	<b>「属係</b> 会計班			役 上野正勝
į	基本事業名	7 休		十の適正な処理		担	当者名 福岡 綾	è	電話番号 096- (内線) 1102	-248-1111
	予算科目	会計 0 1	款	項 目 事 0 1 0 8 0	業	注	<b>令根拠</b> 所得和	锐法	(1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	事業期間		年度のみ		単年度繰返 □→(開始年	<del></del>	度~) ┗(	艮定複数年度→全 年度		量を記入 E度 )
事系	8事業の概要	(具体的	内なやり	方、手順、詳細		皮 要数年度事業は			間限定複数年度のみ	
1月 書事業 【① ② 翌	を発行し、該当者 務局) 務の内容】 を出命令書による 翌月10日に前月	音に郵送 る日々の  分の源	する事務 )支払 泉所得税		非常勤職員、臨	ムった報酬などの 時職員について		は議会 事 源 内 訳 人 人 人 人 一 一	国庫支出金 <sup>都道府県支出金</sup> 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	0
④源	原泉徴収票・支払	ム調書・			AMAIST 1.2				延べ業務時間 人件費計(B)	0
	亥当者への送付 算の内訳】 役種		間勤務月	手当					八件負前 (B) ルコスト(A)+(B)	
	現状把握の部 事務事業の目		5. <del>1</del> 255							
1)	手段(主な活動	動)					⑤ 活動指標	票 (事務事業の活動量:	を表す指標)数字は記	入しない
	<b>年度実績(18年</b> ₩ 謝金 季託料			<b>な活動)</b> 〔泉徴収票・支払〕	調書発行事務		I	名称		単位
	并のため、合志 r			町、合志町、合記		紅合分も発	ア発行枚数	女		枚
194				いる主な活動)		•	<b>⇒</b> イ ウ			
① <b>源</b>	<b>対象(誰、何を</b> 原泉徴収票・支持 合志市から給与・	△調書・	給与支払		自然資源等		<ul><li>6 対象指標</li><li>ア 発行人数</li></ul>	票(対象の大きさを表す <b>名称</b> 牧	指標)数字は記入した	(試) 単位 単位
							<b>⇒</b> イ			
① <b></b>		適正に	源泉徴収	<b>象をどう変えるの</b> しまちがいなく所			が ⑦ 成果指植 ア 源泉徴収!	票(対象における意図の <b>名称</b> 票等を正確に発行		単位
①所 ②名	所得税法により、 予市町村への送	適正に 付(申告	源泉徴収 テ)となる	しまちがいなく所			, ウ	名称 票等を正確に発行	できなかった件数	<b>単位</b> 件
① ② 名 <b>④</b>	所得税法により、 予市町村への送 結果(どんな紙	適正に 付(申告 <b>吉果に</b>	源泉徴収 うとなる <b>詰び付け</b>	しまちがいなく所 <b>るのか</b> )			, ウ	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度	できなかった件数	単位件
① 序 ② 名 ④ : ① 会	所得税法により、 条市町村への送 結果(どんな終 会計事務の的確	適正に 付(申告 <b>吉果に約</b> な処理。	源泉徴収 計)となる <b>詰び付け</b> と効率化な	しまちがいなく所 <b>るのか</b> )			・ ウ 成果指植 ア 成果指植 ア が	名称 票等を正確に発行	できなかった件数 を表す指標)数字は	単位 単位 記入しない 単位
① 序 ② 名 ④ : ① 会	所得税法により、 予市町村への送 結果(どんな紙	適正に 付(申告 <b>吉果に約</b> な処理。	源泉徴収 計となる <b>詰び付け</b> 上効率化を <b>推移</b>	しまちがいなく所 <b>るのか</b> )			, ウ 成果指標 ア 成果指標 ア イ 8 上位成果 ア 正確に発	名称 票等を正確に発行 は指標(結果の達成度 名称	できなかった件数 を表す指標)数字は	単位 単位 記入しない 単位
① 序 ② 名 ④ : ① 会	所得税法により、 予市町村への送 結果(どんな終 計事務の的確 総事業費・指:	適正に 付(申告 <b>吉果に</b> な処理と	源泉徴収 うとなる <b>詰び付け</b> と効率化を <b>推移</b> 単位	(しまちがいなく所 <b>けるのか</b> ) を図る	「得税を納付で		・ ウ 成果指標 ア 成果指標 ア イ ・	名称 票等を正確に発行 上指標(結果の達成度 名称 行できなかった源:	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合	単位   単位   記入しない   単位   %
① pi ② 名 ① ci ① ci (2)	所得税法により、 各市町村への送 結果(どんな終 計事務の的確 総事業費・指 を 本期期 の表	適正に 付(申告 <b>吉果に</b> 存 な処理。	源泉徴収 うとなる 結び付け 上効率化を 単位 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	しまちがいなく所 <b>けるのか</b> ) を図る	「得税を納付で 「開発を持ている。」 「お子を度」	18年度	・ ウ 成果指標 ア 成果指標 ア イ ウ 8 上位成果 ア イ ウ 19 年度	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度 名称 行できなかった源:	できなかった件数を表す指標)数字は対象徴収票の割合	単位   単位   単位   ※   世位
① pr ② 2 ② 4 ② 4 ② 1 ② 2 (2)	所得税法により、 各市町村への送 結果(どんな称 会計事務の的確 総事業費・指: 東京原理・ 財源の 事業内	適正に 付(申告 <b>吉果に</b> な処理。 <b>標等の</b> よ出金 <b>漬</b>	源泉徴収	しまちがいなく所 <b>けるのか</b> ) を図る	「得税を納付で 「開発を持ている。」 「お子を度」	18年度	・ ウ 成果指標 ア 成果指標 ア イ ウ 8 上位成果 ア イ ウ 19 年度	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度 名称 行できなかった源:	できなかった件数を表す指標)数字は対象徴収票の割合	単位   単位   単位   ※   世位
① P ② P ② P ② P ② P ③ P ③ P ③ P ⑤ P ⑤ P ⑥ P ⑥ P ⑥ P ⑥ P ⑥ P ⑥ P ⑥ P ⑥	所得税法により、 会計事業費 おままである。 おままである。 おままである。 おきままである。 おいまする。 おいまする。 おいまする。 はいまる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。	適正に 付(申告 <b>ま果に</b> 標等の よ 支出金 で で し 大 関 の し 大 の し し 大 り し し し う う し う し う し う し う し う し う し う	源泉徴収 所 R S S S S S S S S S S S S S S S S S S	しまちがいなく所 <b>たるのか</b> ) を図る 16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度(実績)	・ ウ 成果指標 アイ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標)	できなかった件数 を表す指標/数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標)	単位 単位 単位 ※ 単位 ※ 22 年度 (最終目標)
① pr ② 2 ② 4 ② 4 ② 1 ② 2 (2)	所得税法により、 会計事業費 お果(どんな称 本計事業費 財源内訳 事業費 事業費 事業費	適正に (中生	源泉徴収 (i) となる <b>詰び付け</b> と効率化を <b>推移</b> 単位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	しまちがいなく所 <b>けるのか</b> ) を図る	「得税を納付で 「開発を持ている。」 「お子を度」	18年度 (実績) 319 319 4	・ ウ 成果指植 アイッ ・ ⑧上位成果 アイゥ 19年度 (見込)	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度 名称 行できなかった源:	できなかった件数を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標)	単位 単位 単位 ※ 22 年度 (最終目標) "" 70
(2) 投入量	所得税法により、 特別法により、 結果事業費 財源内訳 事業職へ 一費買売 一費 一費 一費 ・ 一 ・ 一	適付(申告 吉果に 標出 は は は は は は は は は は は は は	源泉飲る おびが本 は が が が が が が が が が が が が が	(しまちがいなく所 <b>たるのか</b> ) を図る 16年度 (実績)	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504	・ ウ 成果指標 ア 成果指標 ア イ ウ	名称 票等を正確に発行 上指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400	単位 単位 ※ 単位 ※ 22 年度 (最終目標) *** *** *** *** *** *** *** *** ** **
(2) 投入量	所得税法により、 特別法により、 結果、 結計事業費 財源内訳 事業費 大の的のは 事業費 大のののののでである。 「おいます」である。 「おいまする。 「もなった。	適付(申告 書ない 標 出き債 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	源泉飲る <b>諸び付付</b> <b>推 単 位</b> <b> </b>	しまちがいなく所 <b>たるのか</b> ) を図る 16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績) 319 319 4	・ ウ 成果指植 アイッ ・	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標)	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6	単位 単位 ※ 単位 ※ 22 年度 (最終目標) ***
(2) 投入量	所得税法により、 結計果事業費 お記述の的のは お記述ののののでは、 はなののののでは、 お記述ののののでは、 はなののののでは、 はなののののでは、 はなのののでは、 はなのののでは、 はなのののでは、 はなのののでは、 は、このでは、 に、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	適付(申告	源泉飲る おびが本 は が が が が が が が が が が が が が	(しまちがいなく所 <b>16年度</b> (実績) 0	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504 2,001	・ ウ 成果指植 ア 成果指植 ア イ で	名称 票等を正確に発行 上指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400 1,588	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400 1,588	単位 単位 ※ 単位 ※ 22 年度 (最終目標) *** *** *** *** *** *** *** *** ** **
(2) 投入量	所得税法により、 結計果事業費 財源内訳 事業職 事業費 人件費 人件費	適正に (中生	源泉飲る <b>諸び付付</b> 化 <b>推 単 位</b> <b>千千千</b> <b>千千</b> <b>千千</b> <b>千</b> <b>千</b> <b>千</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b>	(しまちがいなく所 <b>16年度</b> (実績) 0	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504 2,001 2,320	・ ウ 成果指植 ア 成果指植 ア イ ウ	名称 票等を正確に発行 上指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	単位 単位 ※ 単位 ※ 22 年度 (最終目標) *** *** *** *** *** *** *** *** ** **
(2) 投入量	所得税 は	適付 <b>集</b> (中	源泉飲る <b>諸び付付</b> 化 <b>推 単 位</b> <b>千千千</b> <b>千千</b> <b>千千</b> <b>千</b> <b>千</b> <b>千</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b>	(しまちがいなく所 <b>16年度</b> (実績) 0	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504 2,001 2,320	・ ウ 成果指植 ア 成果指植 ア イ ウ	名称 票等を正確に発行 上指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	単位 単位 ※ 単位 ※ 22 年度 (最終目標) *** *** *** *** *** *** *** *** ** **
(2) 投入量	所得税法により、 結計果事業費 お記述の的のは お記述ののののでは、 はなののののでは、 お記述ののののでは、 はなののののでは、 はなののののでは、 はなのののでは、 はなのののでは、 はなのののでは、 はなのののでは、 は、このでは、 に、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、このでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	適付 <b>( )</b>	原泉なる <b>括び</b> 本 移 位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(しまちがいなく所 <b>16年度</b> (実績) 0	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504 2,001 2,320 2877	・ ウ 成果指標 ア 成果指標 ア イ ウ	名称 票等を正確に発行 上指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	単位 単位 ※ 22 年度 (最終目標) " " 70 70 6 400 1,588 1,658 1,658
(2) 投入量	所得税 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別	適付 <b>禁</b> (本)	源泉飲る <b>諸び付付</b> 化 <b>推 単 位</b> <b>千千千</b> <b>千千</b> <b>千千</b> <b>千</b> <b>千</b> <b>千</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b> <b>一</b>	(しまちがいなく所 <b>16年度</b> (実績) 0	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504 2,001 2,320 2877	・ ウ 成果指標 ア 成果指標 ア イ ウ	名称 票等を正確に発行 上指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	単位 単位 ※ 22 年度 (最終目標) … … … … … … … … … … … … …
(2) 投入量	所得税 は	適付 <b>集</b> 処 標 出支債 (事時 (A) + (フィウアイウ	原泉なる <b>括び</b> 本 移 位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(しまちがいなく所 <b>16年度</b> (実績) 0	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504 2,001 2,320 2877	プ 成果指札 ア 減泉徴収 イ が ⑧上位成果 ア 正確に発 イ ウ 19年度 (見込) 70 70 6 400 1,588 1,658 1700 1530	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658 1700	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	単位 単位 ※ 22 年度 (最終目標) … … … … … … … … … … … … …
① P 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	所得税 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別	適付	原泉なる <b>括び</b> 本 移 位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(しまちがいなく所 <b>16年度</b> (実績) 0	17年度 (実績) 0	18年度 (実績) 319 319 4 504 2,001 2,320 2877	プ 成果指札 ア 減泉徴収 イ が ⑧上位成果 ア 正確に発 イ ウ 19年度 (見込) 70 70 6 400 1,588 1,658 1700 1530	名称 票等を正確に発行 指標(結果の達成度 名称 行できなかった源: 20年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658 1700	できなかった件数 を表す指標)数字は 泉徴収票の割合 21年度 (目標) 70 70 6 400 1,588 1,658	単位 単位 ※ 22 年度 (最終目標) … … … … … … … … … … … … …

合志市

事務事業名	源泉徴収票等発行事務	所属部	所属課	会計課

	于初于木石	你不以权示书	元门事物	171 (本口)		刀肉环	云川队		
1	) <b>事務事業の環境</b> ) <b>この事務事業を</b> 得税法に基づき行っ	開始したきっかり	等 けは何か?いつ頃どんな経	経緯で開始	されたのか?				
	) <b>事務事業を取り</b> に変化はみられない		や根拠法令等)はどう変化	らしているだ	か、開始時期あるいは	は5年前と	比べてどう変わったのか?		
18	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 18年度は、1件送付ミスの苦情があった。意見等は特に聞いていないが、送付された住民から金額の内訳の問い合わせが多数ある。また、紛失による確定申告のための再発行もかなりの件数にのぼる。								
2			「価、ただし複数年度事業」			<b>∞</b> +π /ο.4			
	①政策体系との この事務事業の目 系に結びつくか?意	的は市の政策体		里由】つ			<b>メロンートルー 反映</b> すでき、適正な会計処理となる。		
	果に結びついている	るか?							
目的妥当性	② 公共関与の多なぜこの事業を市がならないのか?税会はあります。	が行わなければ	<ul><li>□ 見直し余地がある ⇒ 【ま</li><li>☑ 妥当である ⇒ 【ま</li><li>法に定められており妥当であ</li></ul>	理由プラ	⇒3 改革・改善方向	の部 (3杉	₹目シート)に反映		
評価	i ③ 対象・意図の	トベきか?意図を	<ul><li>見直し余地がある ⇒【ま</li><li>適切である ⇒【ま</li><li>対象・意図とも、現状で適切で</li></ul>	理由】つ	⇒3 改革・改善方向	の部 (3材	(目シート)に反映		
	④ 成果の向上会 成果を向上させる会 成果の現状水準と の差異はないか? 向上が期待できない	余地はあるか? あるべき水準と 何が原因で成果		里由 】					
有効性評価	事務事業を廃止・ない   響の有無とその内に	大山 た場合の影	<ul><li>□ 影響無 ⇒【理由】 →</li><li>□ 影響有 ⇒【その内容】</li><li>法に基づいた事務であり、まり</li></ul>	<b>₽</b>	⇒3 改革・改善方向 「得把握・申告ができなく				
щ	⑥ 類似事業とのの可能性目的を達成するに以外他に方法はなとの統廃合ができるの連携を図ることに上が期待できるか	は, この事務事業 いか?類似事業 るか?類似事業と こより、成果の向	<ul><li>一他に手段がある</li><li>一 統廃合・連携ができる</li><li>一 統廃合・連携ができる</li><li>類似事業はない</li><li>✓ 他に手段がない</li><li>✓ 世に手段がない</li></ul>	。 ⇒【理 い ⇒【理		改善方向	の部(3枚目シート)に反映		
効率性評価	民の協力など)	業費を削減でき に法の適正化、住	■ 削減余地がない ⇒ 【ま 18年度は合志市に加え、旧2 からは通常に戻るので事業費	やも削減され	西合志下水道組合分も		(3枚目シート)に反映 ので事業費がかさんだが、19年度		
	:   減 示 地   やり方を工夫して延	Eベ業務時間を削 果を下げずにより や委託でできな	□ 削減余地がない ⇒【月		西合志下水道組合分も		(3枚目シート)に反映 つで事業費がかさんだが、19年度		
公平性評価	事業の内容が一部 でいて不公平では 合知が公平・公正・	の受益者に偏っ ないか?受益者	<ul><li>見直し余地がある ⇒【ま</li><li>✓ 公平・公正である ⇒【ま</li><li>関係者全てに源泉徴収票等</li></ul>	里由】 🍑		向の部(	(3枚目シート)に反映		

事務事業名	源泉徴収票等発行事務	<b>交</b>	所属部		所属課	会計課
	と今後の方向性(次年度	計画と予算への反映		) 全体総括(振り返り、	ロルよ)	
(1) 1次評価者として ① 目的妥当性	<u></u>	□ 見直し余地あり			<b>答に関す</b>	るマニュアルを作成し、担当職 減らすことができる。
② 有効性	□ 適切	☑ 見直し余地あり				に加え、旧2町分、合志西合志
③ 効率性	□ 適切	☑ 見直し余地あり	ľ			事業費・人件費がかさんだが、 事業費も人件費も削減される。
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり				
<ul><li>廃止 □ 休止</li><li>▼ 事業のやり方改善(□ 現状維持(従来通り会計課で財務会計シ法を周知する。</li></ul>		事業統廃合・連携 のやり方改善(公平性) 力についてのマニュブ	改善)	のやり方改善(有効性改善 くり、担当者に正しい入	<b>善</b> )(原	(4) 改革・改善による期待成果         廃止・休止の場合は記入不要)         コスト         削減 維持 増加         成維       ×         果 持       ×         低       ×         下       ×
会計課での審査を	複数で行い、 源泉に			<b>する。</b>		
4 事務事業の2次 (1) 1次評価結果の3						
①記述水準(1次 記述不足で 一部記述オータ 記述は十分 ②評価の客観性が 「容観性を欠 一部に客観 客観的な評	評価の記述内容を読んだけかりにくい にのところがある なされている 水準(2次評価を行った役いており評価が偏ってしませを欠いたところがある	後に総合的に判断して いる(事務事業の問題 )	点、課題認識され	ている)		
(2) 2次評価者として	の評価結果		(3	)評価結果の根拠と理	曲	
① 目的妥当性	臣 □ 適切	□ 見直し余地あり				
② 有効性	□ 適切	□ 見直し余地あり	⇔			
③ 効率性	□ 適切	□ 見直し余地あり				
④ 公平性	□ 適切	□ 見直し余地あり				
<ul><li>廃止 □ 休止</li><li>事業のやり方改善(</li><li>現状維持(従来通り</li></ul>	効率性改善)     事業 で特に改革改善をしない)			かり方改善(有効性改善		(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点 上 成維 果 低 下 × × ×
(6) その他2次評価会	≷議で指摘された事項					